

# FOCUS 2

## デジタルトランスフォーメーション

### 中外製薬が目指すデジタルトランスフォーメーション

IT・デジタル技術の急速な進展により、AIやRWD/Eなどを活用した新たな科学的手法が台頭しつつあります。また、医療費の抑制が進む中、患者さんにとって真に価値のある医薬品に対するニーズが高まっています。

中外製薬は、従来の強みに最先端のデジタル技術を組み合わせることで、革新的な創薬の加速や、個別化医療を高度化する機会を見出し、「ヘルスケア産業のトップイノベーター」を目指します。デジタル分野においても先進的に取り組んでいるロシュ・グループの資源を活用し、シナジーを発揮できることも当社のアドバンテージです。

こうした中、IBI 21では、戦略3の中でデジタル戦略の加速を掲げるなど、個別化医療のさらなる高度化と医薬品のすべてのバリューチェーン最適化のために、従来のデジタル化とは一線を画したデジタルトランスフォーメーションに向け、経営資源を集中的に投下します。2019年10月には、これま

で各部署で進めてきたデジタル施策を統括するデジタル戦略推進部を新設。2030年までの「CHUGAI DIGITAL VISION 2030」とロードマップを策定しました。



Vision を体現するロゴ

### 3つの基本戦略

「デジタル基盤の強化」では、ソフト・ハード両面の基盤構築に取り組みます。ロシュ・グループと連携しながら、社内の各種データの統合や解析基盤構築を通じてグローバル水準のIT基盤の確立を目指します。さらに、社員のアイデアやチャレンジを支援するDigital Innovation Labを設立・運営するほか、必要なデジタル人材像を特定し、その獲得や育成も進めていきます。

「すべてのバリューチェーン効率化」とし

ては、デジタル技術を活用し、各部署・各機能、特に生産・営業プロセスの大幅な効率化を実現していきます。また、顧客データの統合的な解析を通じ、顧客体験を高める新ソリューション開発にも着手していきます。

「デジタルを活用した革新的な新薬創出」では、「AI x RWD x デジタルバイオマーカー (dBM)」のケイパビリティを向上させ、中外製薬にしかできないDxD3 (Digital transformation for Drug Discovery and Development) を実現し、真のPHCを目指します。AIなどの先端技術を活用した研究プロセス変革や成功確率向上、各作業の省力化・自動化を図るとともに、株式会社Preferred Networksなどのトップレベルの外部パートナーとの協業も進めています。加えて、dBMの開発も行い、患者さんにとってのアウトカム指標の精緻化・高度化を進め、ウェアラブルデバイスなどを活用した疾患・健康状態のモニタリングを通じて、治療判断の支援に貢献します。同時に、当該データやRWDをもとに、臨床開発戦略の刷新や、実臨床におけるエビデンス高度化などにも取り組む計画です。

### CHUGAI DIGITAL VISION 2030



